

## ライフサイエンス支援センター 生物資源部門

## 1. 領域構成教職員・在職期間

准教授	徳永 暁憲	2018/5/1～現職
-----	-------	-------------

## 2. 研究概要

## 研究概要

生物資源部門は、第1期施設（4階建て903㎡）、第2期施設（5階建て901㎡）及び第3期施設（5階建て1209㎡）からなり、厳密に管理された空調制御機構を持つ実験動物施設である。本部門では、動物実験が適正に行われるよう実験施設の飼養環境の維持と利用に関する教育を主業務としている。現在マウス、ラット、ウサギ、モルモット、イス、マーモセット等が収容可能であり、小動物実験室、中大動物手術室、行動観察室、隔離感染実験室、X線照射室、検疫室などを完備している。また部門研究として、遺伝子改変動物の作出に関わる発生工学手法の技術開発、並びに神経疾患モデルを用いた基礎研究などを行なっている。

## キーワード

発生工学、CRISPR、幹細胞研究、中枢神経系疾患

## 特色等

生物資源部門では適切な動物実験の実施に求められる環境維持のため、微生物モニタリング、体外受精による感染体の除去などバリア環境の保全に努めている。また本部門の利用者に対して動物実験講習会や実習・講義を定期的に開催し、動物実験に求められる原則「動物実験の3R（Replacement、Reduction、Refinement）」への理解を深めると共に、ゲノム編集動物の作出などの研究支援を行っている。

## &lt;主な部門業務&gt;

- 1) クリーンかつ安全な施設環境維持
- 2) 動物実験講習会の開催
- 3) 実験動物の飼育方法・実験手法に関する技術指導
- 4) 学生および大学院生に対する実習・講義
- 5) 検疫・微生物モニタリング
- 6) 胚保管・ゲノム編集動物の作出などの研究支援

## 本学の理念との関係

生物資源部門では、本学の理念に則り科学的かつ適正な動物実験を推進するべく、実験動物の飼養保管、施設の環境整備を行なっている。今日、動物実験は医学生物学研究には欠かせずこのできない手段となっており、更なる研究支援体制の充実を目指し、発生工学に注力した基盤的研究支援を行っている。

## 3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文	0		—	
英文論文	ファーストオーサー	0	0 (0)	
	コレスポンディングオーサー	0	0 (0)	
	その他	0	0 (0)	
	合計	0	0 (0)	

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編纂・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 原著論文（総説）

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編纂・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 総説

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会（全国レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

## (3) 国内学会（地方レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

## (4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

1960001

徳永 暁憲：糖代謝経路の破綻に伴う認知機能障害の誘導機序の解明，国際共同利用・共同研究拠点 2019年度成果報告会，東京都港区，20200309

1960002

徳永 暁憲：ライフサイエンス支援センターの紹介，福井大学 令和元年度ライフサイエンスイノベーションセンター研究交流会，20190827

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	新規1型糖尿病モデルを用いたアルツハイマー病態誘導メカニズムの解明	徳永 暁憲		2019	1300000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	受入金額

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（地方レベル）	共催者	第60回北陸実験動物研究会	20200201-20200201	富山市
国内学会（地方レベル）	主催者	第59回北陸実験動物研究会	20190420-20190420	金沢市

## (B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名

## (D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名

## (E) その他